

# Tilapia mossambica を餌料としてのハタ類の養成

## 1. 目的

肉食性の強いハタ類の活魚餌料として海水中で容易に生産できる T. mossambica をハタ類に投餌してその可能性を検討した。

## 2. 材料と方法

3 t コンクリート水槽にハタ類の隠れ場所としてコンクリートブロックを配置し、110～650 g のハタ3種（種、不明）を7尾収容した。活餌料は前項で生産した T. mossambica の60～100 mm サイズのものを15尾投入した。

## 3. 結果と考察

実験開始の翌日に3尾捕食されたのでその補充のため3尾投入した。しかし、その後全く捕食されなかったため魚肉を少量給餌した。しかし、その後2週間経過しても捕食された様子がないので、ハタ類と T. mossambica の遊泳層を近づけるため水槽の水深を30 cm程度に浅くした。結果は変わらず捕食されなかった。このことは、実験開始が低水温期（16℃）に行なわれたことと、ハタの試験実施前の状態が空腹をながく持続させたことなどの影響で捕食されなかったと考えられるので再試験する必要がある。また、今回は供試魚としてのカンモンハタが入手できなかったためこれについても実施する必要がある。